学習活動例　算数 第１学年　　　　　　　　　 【学習指導要領との関連 新A(2)イ(ア)　現行Ａ(2)イ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 題材名 | たしざん（東京書籍）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本時２／１３時間 | |
| 本時のねらい | | 本時の授業で育成を目指す  プログラミング教育の資質・能力 |
| １位数どうしの繰り上がりのある加法計算で，加数を分解して計算する方法（加数分解）を理解し，計算方法をまとめる。 | | Ｂ１：課題解決の過程で，細かく分けて順序立てたり必要な情報を組み合わせたりすること。 |
| 【関連する資質・能力】 |
| ―――― |
| 本時のねらいとプログラミング教育とのつながり | | |
| 本時の学習では，細かく分けて順序立てるというプログラミングの順次の考え方を取り入れ，計算の順番を言葉で表す活動に取り組む。計算の順番を整理することにより，本時のねらいを効果的に達成できると考える。 | | |
| 準備物 | ワークシート（W1-3） | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| プログラミング教育に関する活動の流れ  （15分） | | ●教師の指示  ※教師の支援  ◇指導上の留意点 |
| 導入 | １　計算の順番を整理する。  けいさんをする  １０の まとまりを つくる  １０と のこりのかずを たす  こたえをだす  ２　活動の振り返りをする。 | ●「計算の仕方を整理します。最初に，１０のまとまりを作りましたね。次に，１０と残りの数を足しましたね。このような順番で計算をすることができます。」  ※教師は黒板に計算の順番を書き，児童はワークシートにまとめる。  ◇スタートとゴールをはっきりさせるために，①は計算のスタート，④は計算のゴールを書いている。  ◇計算の仕方を確認しながらまとめる。  ●「①から④の計算の順番が分かっていると，どんな数でも計算することができるようになりますね。」 |
| 展開 |
| まとめ |
| 【本時と前後する学習活動】 | | |
| 第１時　９＋４の計算の仕方を考える。  第２時（本時） | | |

★ワークシート（W1-3）の解答例・使い方

たしざん

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　くみ　なまえ

○けいさんの じゅんばんを かこう

けいさんをする

**１０の まとまりを つくる**

**１０と のこりのかずを たす**

こたえをだす

児童が記入する。